

平成 29 年 4 月 24 日

各小中学校長 様
各保育園長 様
各幼稚園長 様

静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会
会 長 静岡市立番町小学校長 大石 成伸
副会長 菊川市立小笠北小学校長 齊藤 辰治

静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会「第 2 回小笠地区講習会」について（通知）

新緑の候、皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より、言語・聴覚・発達障害教育につきまして、深い御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、本講習会は、本来通級指導教室担当・難聴学級担任・幼児ことばの教室担当を対象に実施しておりますが、今回は、特別支援教育に携わる保育園・幼稚園・小学校・中学校の方々にも御参加いただけますよう、下記のように講演会を開催することといたしました。御多用中とは存じますが、多くの方々に御参加いただきたく、御案内申し上げます。

記

- 1 日 時 平成 29 年 6 月 11 日（日）午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分
- 2 会 場 静岡県総合教育センターあすなろ 大研修室
（掛川市富部 456 電話 0537-24-9700）当日は電話はつながりません。
- 3 参加者 静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会会員
希望する小笠地区の保育園・幼稚園・小中学校の保育士及び教職員
- 4 内容・日程
・受付 9:10～9:25

演 題 ICT（情報通信技術）を活用した読み書き支援

講 師 平林 ルミ 先生

（東京大学先端科学技術研究センター 人間支援工学分野 特任助教）

今回は言語聴覚士・臨床発達心理士でもある平林先生をお呼びし、「読み書きに困難がある子どもたちが ICT を活用することの意義や方法」について、事例紹介や実演を交えながらお話していただきます。

「ICT を活用すればこういうことができるのか」といった驚きにとどまらず、「個に合った学び方が用意されることの大切さ」を実感できる貴重な機会になると思います。

特別支援に携わっている方だけでなく、ICT 活用に詳しい方や中学校の方などの通常学級の子どもたちに携わる方の参加をお待ちしています。

<平成26年度文部科学白書 第11章 ICT の活用より>

- ① 教育における ICT（インフォメーション コミュニケーション テクノロジー）の活用は、子供たちの学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業や子供たちの主体的・協働的な学び（いわゆる「アクティブ・ラーニング」）を実現する上で効果的であり、確かな学力の育成に資するものです。
- ② また、ICT を活用することによって、一人一人の子供たちの能力や特性に応じた「個別学習」や、子供たちが教え合い学び合う「協働学習」の効果的な実施が可能になります。
- ③ さらに、特別な支援が必要な子供たちに対して、障害の状態や特性等に応じて活用することは、各教科や自立活動等の指導においても極めて有効です。

5 参加費 無料（当日、資料代を徴収する場合あり）

6 その他

- (1) 参加を希望される方は、講演会前々日までに、申込用紙を FAX でお送りください。
・参加を取りやめる場合は、連絡してください。
- (2) 持ち物：暑さ対策のもの（当日、冷房は使えません。）
- (3) 駐車場：センター内の駐車場及びセンター北側の駐車場。

担当：掛川市立中央小学校・発達通級指導教室 藤田 順子
電話（教室直通）0537-23-0234
FAX（学校）0537-23-0216

中央小 藤田 行		講演会 参加申込み	
園・学校名 電話番号		FAX (学校) 0537-23-0216	
		名前	所属 担当学年 など

・講演会に参加しようと思われた動機や、先生への質問などを、お書きください。